

## 地方創生に向けた産学連携活動の紹介

○木村雅和（静岡大学 イノベーション社会連携推進機構）

### 1. はじめに

静岡県、特に浜松市において地方創生に向けて行われている特徴的な産学連携活動について紹介する。静岡県の人口減少は現在も深刻な問題であり<sup>1)</sup>、静岡大学は地域に貢献する大学として、COC+、地域のクリエイティブリーダーを育成する全学横断のプログラムである地域創造学環等、若者が定着してくれる魅力的な街づくりに繋がる事業を地域との連携の下、展開している（図1）。これまでに全国大会などにおいて、地域における静岡大学の状況（立ち位置）や産学連携の活動について報告しているが、今回は地域のブランド化を意識した地方創生に向けた活動について、地方大学が担うべき産学連携の方向性も含めて報告する。

### 2. 地方創生に向けた新しい産学連携

地方創生のためには地域の価値を高めていく必要がある。地域の規模に関わらず、アイデア次第では街のブランド化が可能であり、海外ではいくつか好事例がある<sup>2,3)</sup>。その具体的な手法には地域の特性によって異なると思われるが、産業振興は多くの地域で重要なファクターとなる。浜松地域では新産業の創出、雇用の創出等、地域産業の活性化のために、全く新しい観点による中小企業支援事業、ベンチャー創出に向けた支援（ファンドの創設等）を産学官の連携で推進している。さらに他地域から人が集まってくるような街のブランド化に繋がるツールの一つとして新しい教育システム（トップガン教育システム）の確立に向けて活動を行っている。未だ道半ばではあるが、これらの取組みの具体的な内容の紹介に加え、大学の役割や地方創生に向けた大学の貢献について大学改革も視野に入れて考察する。

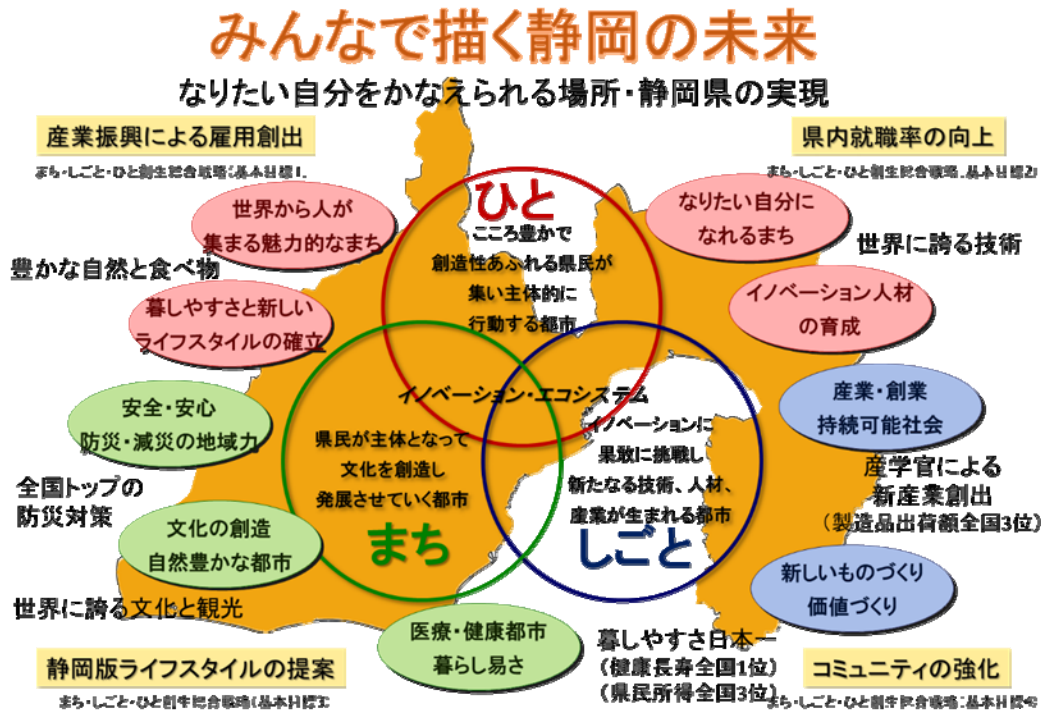


図1 静岡大学のCOC+の基本概念（なりたい自分をかなえられる場所・静岡県）

#### 【参考文献】

- 1) 増田寛也：「地方消滅、東京一極集中が招く人口急減」，中央公論社，2010。
- 2) 高松平蔵：「ドイツの地方都市はなぜクリエイティブなのか」，学芸出版社，2016
- 3) 若林宏保他「PLACE BRANDING “地域”から“場所”のブランディングへ」，有斐閣，2018

